

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	◎	家電量販店（店員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で巣籠り需要があり、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、調理器具等が好調に推移している。前年比約120%の実績で着地でできそうである。
（北関東）	○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・巣籠り需要のためか、買物点数が増えているようである。
	○	家電量販店（店長）	販売量の動き	・寒気もあり、冬物商材が売れている。
	○	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・コロナ禍ではあるが、来客数は前年比100%を確保できている。しかし、買上点数は同80%と厳しい。単価は同102%で推移している。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況で、翌日の来客数が左右されていたが、慣れなのか、最近ではそこまで感染者数に影響されなくなってきた。
	○	都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・本来は年末年始にかけて盛り上がるはずが、Go Toの一時停止を受けて、宿泊は尻すぼみとなっている。料飲に関しては、クリスマスは忙しかったが、宴会は月に3、4件ほどで、売上は低迷している。
	○	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による巣籠り需要で、テレビサービスやインターネットサービスが好調である。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・店内に空間除菌、手指及び皮膚消毒、薬剤浄化の用途別にオゾン生成器を設置し、周知したお陰で、年末らしい客足が戻ってきている。3密を避けるため、客を店内ではなく車内で待たせているが、理解してもらえている。
	○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新規の問合せがきている。新型コロナウイルスの先行きが見えないなかではあるものの、少しずつ動き出していると思われる。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・当地では外出は控えるようにと、新型コロナウイルスの警戒レベル4が出されている。スーパーも駐車場の空きが大分目立ち、一般店はそれに準じて静かである。このような状態の師走は初めてである。元気が欲しい。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・食品は、クリスマスケーキ、おせち料理の注文が大幅に増加し、全体に好調である。ただし、衣料品を中心に衣料雑貨は婦人、紳士共に需要が縮小しており、相変わらず苦戦を強いられている。
	□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者数が高水準で推移するなか、来客数の減少が顕著である。富裕層による高額商材の動きはあるものの、中間層の動きは依然として鈍いままである。歳暮ギフトは比較的堅調であったものの、客は不要不急の外出や消費には依然慎重である。
	□	スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・コロナ禍が続いている状況で、来客数減、客単価上昇の傾向は相変わらずである。一部店舗での地域振興券の影響により一時的に数字の上昇はあるものの、景気が良いとは感じられない。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者が増えており、自粛ムードで来客数が減っている。
	□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・自粛期間が延びており、プレミアム付商品券やGo To Travelのクーポン券を利用して買物に来る客はいるが、来客数も客の買上点数もさほど変わらない。24時間営業のなかで、夜の来客数は減っている。
	□	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響で、自粛ムードが感じられる。
□	自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのマスコミ報道の影響なのか、来客も交通量も少ない。販売台数は、やや取り戻しつつある。	
□	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・寒さがやっと到来し来客数が増え、季節商材の動きも活発になってきている。また、新型コロナウイルスの感染拡大で、再び巣籠り傾向になり、それが少なからずプラスに働いている。	

□	その他専門店 〔靴小売業〕 (経営者)	来客数の動き	・この3か月、客の動きは同じような推移をしている。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、県から出控えるようにとの指示やG o T oキャンペーンの中止もあって、客が必要な物しか買わなくなっている気がする。インターネット販売の動向は、キャンペーンによるところもあるが、やや回復傾向にある。当地では天候次第で客の動きに変化があるので、期待している。
□	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ランチの時間帯に少人数で来店する客は戻ってきたが、宴会予約はキャンセルが続出している。忘新年会は絶望的である。
□	一般レストラン 〔居酒屋〕 (経営者)	来客数の動き	・連日の新型コロナウイルス関連のニュース等、情報に左右されながら、客は慎重に動いている気がする。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕 (総務)	販売量の動き	・事業所給食を受託しているが、研修施設や野外学習施設等で利用が落ち込んだままの状態が続いており、社員食堂では出張休止等により食数が減少する施設もある。一方で、例年では少ない、期中で新規受注できた取引先もあり、総体では前年並みの売上となっている。
□	通信会社 (局長)	来客数の動き	・来客数が前年度比80%で推移したまま、変わらない。
□	ゴルフ場 (総務担当)	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数に特段変化がない。
□	競輪場 (職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共にほとんど変化が見られない。
□	住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・売買はもとより賃貸についても、客の来店が本当に少ない。新型コロナウイルスの影響で、外出しないようになってきていることが原因だと思われる。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・飲食店、スナック関係は非常に悪く、ちらほら閉店や撤収がある。飲食、夜の歓楽街は、まだまだ悪くなっている感じがする。しかし、成約には至らないものの、今月は人材派遣業、事務所関係の引き合いが何件かあった。
▲	商店街 (代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響が、身近に感じられて、皆外出を控えている。来客は更に少なくなってきている。
▲	一般小売店〔家電〕 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がかなり出ている。
▲	一般小売店〔土産〕 (経営者)	販売量の動き	・例年12月の売上は悪いが、今月と3か月前の前年同期を比べると、達成度合いは今月の方が悪くなっている。当社はG o T o事業の地域共通クーポン利用対象店舗のため、10月からの売上は前年の7割程度であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからなくなった今月中旬以降は極端に悪くなって、結局、同4割程度の売上となってしまっている。閑散期である冬場の唯一の書き入れ時である年末年始も、周辺旅館の宿泊キャンセルが増えている状況と聞いているので、ますます厳しい状況である。
▲	百貨店 (営業担当)	来客数の動き	・客単価や商品単価は、それほど落ち込んでいないものの、来客数が大幅に減少している。
▲	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・来客数は前年比83%で、1日当たり122人マイナスとなっている。また、客単価は同105%で、1日当たり39円増となっている。1日当たりの売上は、前年比88%、63475円マイナスである。夏からの店の前面道路工事と新型コロナウイルスの影響で、前年より来客数の落ち込みが顕著にみられる。11月よりも12月の落ち込みが大きくなっている。
▲	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・月初から新車、中古車などの問合せやオファーが少なく、販売台数が落ち込んでいる。ただし、車検等の整備売上が微増で救われている。商業界では、大規模、中規模小売店が共に、「来客数は落ちているが、売上の落ち込みが10%以内で収まってくると良いのだが」と心配している。

▲	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・当社は観光地を後ろに控えているため、Go To Eatも含めたGo Toキャンペーンで、一時、ぐっと良くなった感じがして、客のホテル従業員や支配人等も喜んでいたが、ここに来て、新型コロナウイルスの感染者がものすごい勢いで増えて、変異種も出てきたり、Go Toキャンペーンも一時中断となり、明るい材料がない。ホテル、飲食店、夜の商売関係は全く先が読めず、車の売行きもほぼストップしている。修理はそこそこ入ってきているが、客の顔を見ても、買えるような状況ではないということで、販売は落ち込んでいる。
▲	その他専門店 [燃料] (従業員)	販売量の動き	・販売量の減少が大きい。
▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・近隣で新型コロナウイルス感染者数が増加し、市内でもクラスターが発生したことで、人の動きが減っている。
▲	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・県南方面は東京に近いこともあって、新型コロナウイルス感染者数が増えている状況から、県南の2つのビジネスホテルの稼働率は落ちてきている。県北にあるホテルの状況はやや良くなっているが、今後の自粛や飲食店の時短等の影響により、また変わってくると考えている。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・東京で連日500人以上の感染者が出てからは、一段と人の姿が見られなくなっている。忘年会シーズンでも、地方の人は決まりをきちんと守り、会食等もしないようで、ひっそりとしている。
▲	通信会社 (総務担当)	来客数の動き	・県の新型コロナウイルスガイドラインの警戒度が、4に上がり、来客数が減ってきている。
▲	設計事務所 (所長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大やGo To Travelの休止により、飲食、旅客、観光を中心に、景気の落ち込みが感じられる。
×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響で、来客数が激減している。
×	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大しているという話が出てから、見事に客が出てこない。客のほとんどを年金受給者が占める当店では、自己防衛に走らざるを得ない客が多く、年金支給月でも街に出てこない状況が続いている。かなり厳しい。
×	住関連専門店 (店長)	それ以外	・コロナ禍のなかで、飲食業や観光業等、ほぼ全ての業界で業績が悪化しており、上向く傾向がみえない。
×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響で、12月の宴会需要がなくなったため、悪くなっている。
×	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・宴会、パーティー、結婚式の受注が前年比5~10%となり、毎月赤字となっている。半年間耐えてきて、忘新年会シーズンで持ち直す予定が壊滅的である。歓送迎会シーズンもこのままの状態だと倒産する。
×	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・不要不急の外出自粛や飲食店への時短営業要請等もあり、会合等のキャンセルや人数減が続出している。
×	旅行代理店 (経営者)	販売量の動き	・Go To Travelが停止となり、年末年始の客の9割以上がキャンセルとなったため、悪くなっている。
×	旅行代理店 (所長)	販売量の動き	・秋季シーズンは、Go To Travelキャンペーンの恩恵を受け、大きく盛り返したものの、今回の年末年始のキャンペーン一旦停止措置により、膨大な予約キャンセルが生じている。売上額の大きいこの期間の停止影響は甚大で、とても再開後にばん回できるものではない。
×	旅行代理店 (従業員)	それ以外	・Go To停止で売上は非常に厳しい。本業以外で売上を立てるしかない。
×	タクシー (経営者)	お客様の様子	・12月は1年の最繁忙期だが、今年は新型コロナウイルスのため、夜の人の動きが悪く、前年同月比で55%減である。
×	タクシー (役員)	それ以外	・新型コロナウイルスの対策において、公共交通機関には全く要請も支援金もない状態である。税金の使われ方にあきれている。

	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が次第にひどくなり、個別店舗や中小企業からの受注は皆無である。大企業や行政からの受注でさえ、危うい状況となっている。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンの全国一斉停止を受け、対象期間前にもかかわらず、団体予約のキャンセルや、出控え現象が発生し、来客数が減少している。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の増産対応のため、年末年始も工場をフル稼働させて対応する予定である。建設機械関連の仕事では、取引先が社内で対応しきれない仕事への応援加工依頼が来ている。
	◎	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月は前年同月比4割減となった。恐らく12月も3～4割減だとみている。1月辺りから多少良くなってくる感じがある。
	○	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は受注量、出荷量が底の状態であった。そのときと比較すれば、現時点は半分回復し、ほっとできる状態になったので、やや良くなっている。
	○	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で年末年始を自宅で過ごす人が多いのか、健康器具、フィットネスバイク、ウォーキングマシン等が動いている。また、高額の椅子などの輸送量も多くなっている。初売り家電のオープンレンジ、高額掃除機、ヒーター、加湿器等も前年の2割アップの輸送量を確保している。ただし、関西方面や遠方等の輸送料は高く、圧迫された分もあって利益は薄くなっている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、周りの業種に激しく落ち込んでいるところが多く、心配である。
	□	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子などは、先行き不明でよく分からない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・8～10月と最悪だったが、11～12月は取引先等の仕事量が若干だが上向いてきている。
	□	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。前政権誕生後、公共工事は順調に推移してきた。現政権にも期待していたが、コロナ禍の現状で、期待外れだと思われて国民の支持が落ちている。今期の公共工事発注は前年比26%増で、当社受注も前期比10%増と、有り難い状況ではある。
	□	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・定期受託業務が減った分のスポット業務があったため、変わらない。売上、利益共、ほぼ横ばいである。
	□	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・商談件数や受注量共に、特段変化は見られない。
	▲	経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響がしつこく続き、街なかの飲食店が厳しい。利用客が減り、営業時間も短くなっている。商店街、観光地等への人出も、平年より少ない。
	▲	社会保険労務士	取引先の様子	・ボーナスが減ったり出なかったりした事業所があるため、消費は盛り上がらない。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は9月が前年比8割で、12月は同6割である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の受注に、新型コロナウイルスの影響が出ており、生産量が停滞し、当社受注の減少につながっている。
	×	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・広告主である飲食店では、忘年会の予約がキャンセルされ、ばく大なダメージを受けている。忘新年会の案内広告の依頼は、前年の1割程度になってしまっている。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今のところ、電話会社が忙しく、多くの求人募集をしている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で影響のあった飲食業、宿泊業からの求人再開がみられる。また、製造業の休業申請も少なくなっている。

□	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・製造関係の募集は、ほとんどない。雇止めの話も段々浸透してきたようで、製造業は厳しい状況である。ただ、医療関係、看護、介護は人手がなく、新型コロナウイルス禍による病院側の要請もあり、県などで募集促進等の動きもあったようだが、非常に厳しい状況である。クリスマス、正月に向けた衣料品やギフト商材は、活発さがある。
□	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・今年度中は既存従業員で対応する企業が多い状況に、変わりはない。
▲	人材派遣会社 (管理担当)	採用者数の動き	・全業種で派遣採用が減少している。
▲	職業安定所(職員)	求人数の動き	・前月の有効求人倍率は1.17倍と、前々月と比べ0.12ポイント上回ったものの、前年同月比ではマイナス0.43ポイントと10か月連続で下回っている。有効求人数は前年同月比17か月連続減少のマイナス19.5%、新規求人数も13か月連続減少でマイナス15.4%となっている。一方、有効求職者は同10.3%と5か月連続で増加し、新規求職者は同0.9%増加に転じている。
▲	学校[専門学校] (副校長)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、学校行事の中止や延期を決めている。このような状況を考えると、関係各所への悪影響はある。
×	*	*	*